

山田学区

社協だより

第 62 号

発行学区  
山田学区  
社会福祉協議会



社協の総会

福祉の和・環・話を  
ひろげましょう

会長 岡 顯 朗

今年も真夏から一気に冬  
になってしまいましたが、  
山田学区の皆様にはますま

すご健勝のこととお喜び申  
しあげます。  
日頃から、山田学区社会

福祉協議会の活動  
には格別のご理解  
とご協力をいただ  
きまして厚くお礼  
申しあげます。  
このたび、五月  
の総会におきまし  
て、引きつづき会  
長を仰せつかりま  
した。学区の皆様  
とほかの社協役員  
を頼りに精一杯努  
めてまいります。  
皆様方からのご指  
導よろしくお願い  
いたします。

ここ数年間、「ひろがれ  
やまだの和・環・話」とい  
うキャッチフレーズを使っ  
てきました。池の中に小石  
を投げ込みますと、波紋が  
できて、どんどんと広がっ  
ていきます。これと同じよ  
うに、なごやかな心や、た  
のしい話が環になって広が  
り、山田に福祉の輪が広が  
っていくといいなーとの思  
いを込めたつもりなのです。  
ところで、世の中どんど  
んと進んでまいります。学  
区の社会福祉協議会も世の  
中に応じて進んで行く必要  
があると考えています。そ  
こで前年と少し変えますと、  
こんなではなかったとお  
叱りを受けますし、でも変  
わらなきゃとも考えます。  
安定した継続も福祉の原点  
とも思われます。こんなこ  
とを考えながら日々を送っ  
ていますが、少しずつでも  
新しい活動に軸足を移して  
いきたいとも思っています。  
今年の敬老会は、台風  
十八号によります特別警報

ひろがれ やまだの 和・環・話  
わかるかな? -記号クイズ-

一目でわかる案内用記号です。  
耳に障害のある人は、視覚から情報を得られます。外国人や  
子ども、文字が読みづらい人など、だれにとっても、分りやす  
く親切です。  
なんの記号が当てて、景品をゲットしてね!

1 ?	2 ♿	3 🚶	4 ¥	5 🚆
6 i	7 🚫	8 P	9 🗣️	10 🚻
11 🏠	12 TAXI	13 ♿	14 🚰	15 ♻️
16 🚫	17 🚰	18 ♿	19 🚶	20 ♿
21 🚰	22 🚰	23 🍴	24 📺	25 🚶
26 SOS	27 SOS	28 ☕	29 🚶	30 ♿

「ああっ、このマーク、  
〇〇の所にあつた」、「そ  
うだそうだ」と子どもたちが  
話しています。これは、「絵  
からみて階段や」「すると  
こちらはエスカレーターや」  
やまだふれあいまつりで、  
子どもたちと一緒に、われ  
われの周りのある案内用の  
図記号について勉強し、楽

わかるかな? この記号  
やまだふれあいまつり

が発令され、残念ながら中  
止とせざるを得ませんでした。  
た。楽しみにお待ちいた  
きました皆様には誠に申し  
訳ございませんでした。  
しいひと時をすごしました。  
また、山田学区社会福祉  
協議会では、赤い羽根共同  
募金を行いました。皆様方  
のご協力のもと、九千七百  
八十一円を市の社協に納め  
させていただきました。ご  
協力いただきましたありが  
とうございました。

# 平和祈念戦没者追悼式

六月の第三土曜日は平和祈念戦没者追悼式を挙げております。今年は、六月十五日でした。

戦後すでに七十年に近い年月が流れ、われわれ戦争を知らない世代がはるかに多くなりましたが、現在の平和と繁栄は、戦没者の尊い犠牲とご遺族の深い悲しみと御苦労の上に築かれていることを認識し、戦没者



の御霊に感謝の誠を捧げ、ご遺族に哀悼の意を表する機会とさせていただいていくところとさせていただきます。そして、われわれ社協は、地域福祉活動を通じ、命の大切さと、平和を守る大切さを子どもや孫たちに伝えていくことの大切さを改めて認識しています。

また、今年は第二部として、平和祈念コンサートと、戦時中の食事の再現とのことで、「すいとん」試食もおこなわれました。



すいとん試食

# 福祉委員研修

学区の社会福祉協議会の諸活動におきまして、最も重要な役割を担っていただいていますのが、各町の福祉委員の皆さんです。そして、福祉委員のみなさんは、それぞれ町内会を代表するリーダーの方々です。町内会長様をトップとして

一緒に町内会の運営にあたっていただいていることと存じます。また、最近では、地域の福祉課題が徐々にその重要性を高めてきております。そこで今年は、町内



会長と一緒に私たちが周りの身近な福祉について、より深く理解をいただきたい。そして、一緒に考えていけたらうれしいなとの思いで、福祉委員研修に町内会長様もご一緒に案内させていただきます。草津市社協の北村道和氏を講師に迎え、「人間らしい暮



らしとは」とみんなで考えたり、我々が、日常生活の中で、お互いに、例えば「おはようございます」、

「こんにちは」と声を掛けたり、雑談をしたりして、「つながって」いくことが普通ではないでしょうか。そんな中で、「おや」と思う普段の様子と違うことに「きづいた」とき、本人の話聞いてみる。そしてその話を「受け止め」助けや助言を求めているようならば、無理をしないで出来ることか。他のご近所の話聞くのもいいでしょうし、町内会長さんとか、民生委員さんに相談するのもいいでしょう。このように「つながり」いくことが大切と学びました。

# ボランティア 連協研修

山田学区のボランティア

団体で構成する連絡協議会が、十一月十二日、草津市のクリーンセンターの見学をおこないました。

ここで、市内から出てくる家庭ごみが、どのように処理されているか、なぜ、現在のごみ分類が必要かを学びました。また、焼却灰の処分地の残りの容量も少なくなっている現状も含め、ごみの減量化へ取り組む必要性を痛感しました。



# 地域サロンの紹介

## ほのぼのサークル「浜風」

高齢になるにつれ、遠くへ出かけることがなくなり、人と出会うことが少なくなつたという

声を耳にするようになったとき、おりしも草津市のほのぼのサロン事業推進の時期とも重なりました。

開設にあたっては、町内会や老人会への理解を得るため、検討会を重ね、ボランティアへの参加を呼びかけ、約2年間の準備期間を経て、町内会主催で行うこととし、平成十五年



四月にスタートしました。当初は月二回の開催で、会食と茶話会として、種々

企画を考えてきましたが、参加者から「食事をするだけで楽しく、同級会のように良い」との声をいただき、現在は月一回の「会食」だけとし、歓迎会をはじめビンゴゲーム、手遊び、体操などを取り入れています。

また、会館の設備面では、玄関、廊下のスロープ設置、トイレの洋式化や段差解消、台所の改造などを町内会でしてもらい、対象者の皆さんの安心とスタッフの活動に大いに寄与しています。これも町内会主催という大きな後ろ盾があればこそとのことです。

あたたかい心のこもった料理に満足していただき、毎月のサロンが楽しみと言っていたいています。このような食事に特化した運営はスタッフの努力のたまものであり、その背後に町内会がしっかり支えていることは確かであり、町内会とボランティアが車の両輪となって運営にあたり、いくさまは長く続ける大きな力となっています。



ますし、また、男性の参加者が毎月多いというのも特徴かと思えます。

# 地域サロンの紹介

## 南山田シニアふれあいサークル

このサロンは、市民センター横の広場で、グラントゴルフを行い、その後、引き続き茶話会を行うことが通常のサロンの運営形態となっています。それに、年間三回程度昼食会を行っています。



茶話会は、グラントゴルフ場に小さなクラブハウスがあり、これらの施設を有効に利用しています。また、グラントゴルフに先立ち、皆で体操を行っています。今は、いき



いき百歳体操など、健康維持の体操が盛んですが、この南山田シニアふれあいサークルでは設立当初から体操を取り入れており、クラブ体操といっています。このサークルは平成十五年九月に補助申請するも認められず、十六年度再度補助申請を行ったとのことです。いずれにせよ、発足当初から一貫して同じスタイルでサロンを運営した実績は素晴らしいものであります。

# 各町の福祉委員紹介

- 田淵 敏男 (北山田町)
- 中島 陸郎 (北山田町)
- 浜口 修治 (五条町)
- 杉江 宗吉 (山田町)
- 川波たず子 (陽ノ丘団地)
- 北川 曉美 (陽ノ丘団地)
- 岸本 嘉郎 (南山田町)
- 岸本 勝治 (南山田町)
- 久泉 洋子 (不動浜)
- 矢野 明美 (岡)
- 後長 正信 (南山田団地)
- 寺井 良裕 (新南浜)
- 三澤 茂 (御倉町)
- 結城 健三 (三ツ池町)
- 江口 和喜 (三ツ池町)
- 山中 秋夫 (新田町)
- 山内 久代 (新田町)
- 木村 善昭 (出屋敷)
- 田村 恒男 (出屋敷団地)
- 村上 幸子 (出屋敷団地)
- 柴田 良弘 (木川町)
- 林 孝宏 (木川町)
- 木村 善男 (木川町)

# 編集後記

家の隣にきれいに色づいた柿の実がいっぱいあります。青い空に映えて本当にきれいな見えます。この実を狙ってカラスが集まって来んでいます。高いところの、人間の手が届きにくいところの実には、鳥の取り分だと聞いたことがあります。今回の広報紙からカラー印刷しました。

